

牛久：学校周辺に見る自然

第13号 みずべ公園

2016年8月2日発行(10月3日一部訂正)

＜初夏のみずべ公園・生きもの観察 ～⑪カナヘビとカエル＞

5/12 ひたち野うしく小4年生と歩いたみずべ公園シリーズ、最後は人気者のカナヘビやカエル。



子どもたちの人気者、カナヘビ。

手の下にたれて見えるのは、長いしっぽ。

みずべ公園に来ると多くの子が夢中になって探す生きもの、それがカナヘビ。人気の秘密は？恐竜のような顔？ちょこまかとすばやい動き？それにしても、長いしっぽ。カナヘビはヘビやカメ、ワニなどと同じ「爬虫類(はちゅうるい)」として分類されています。2.5億～6600万年前に栄えた恐竜もこの仲間です。からだのつくりや生活のし方にどのような特徴があるでしょう？

生きている姿は見られませんが、ヘビのぬけがらも見つけました。まだ新しいぬけがらで、みんなで手ざわりなどを確かめていましたね。

ヘビのぬけがら。みんなで手ざわりを確かめました。



カエルも見つけました。すっかりやせこけていましたが、手足の特徴や体のもようからヤマアカガエルと判断しました。カエルの仲間はオタマジャクシ(幼生)は水の中で暮らし、カエル(成体)になると陸に上がるので「両生類(りょうせいいるい)」として分類されますが、アマガエルのように木や草に登るもの、トウキョウダルマガエルのようにほぼ水中や湿地で暮らすもの、ヒキガエルのようにほぼ地上を歩いて暮らすものなど生活のし方によって足のつくりも違ってきます。機会があれば、観察してみてください。なお、カエルをさわったら、手をよく洗っておきましょう。

(10月3日「ヒキガエル」をヤマアカガエルに訂正)【理科支援員:宮内】



すっかりやせこけたヤマアカガエル。